

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所



・道路工事に着手しました。

平成19年11月20日現在、県道改良工事2件と付替県道工事1件に着手しています。

県道上久我都賀栃木線昭和工区改良その1、その2工事においては、迂回路工事が完了し、本格的な県道改良工事を行っていきます。

また、付替県道杓子沢2工区その1工事においては、着工前の測量を行い、付替県道工事を行っていきます。

今後は、付替県道杓子沢2工区工事1件、県道上久我都賀栃木線改良昭和工区工事1件及び室瀬橋架設工事1件を発注、工事着手し、工事の進捗を図っていきます。

なお、工事区域内は大変危険ですから立ち入らないでください。

しばらくの間、ご不便をおかけしますがご協力をよろしくお願いいたします。



県道上久我都賀栃木線昭和工区改良その1工事



県道上久我都賀栃木線昭和工区改良その2工事



人事異動

異動のありました職員を紹介します。

転入者 「よろしくお願いたします」(前任地)

九月一日付

第二調査設計課

大木 洋介

(本社技術管理室)

十月一日付

調査役

益山 高幸

(中部支社管理部)

総務課長

大牧 千木

(本社総務部)

環境課長

向後 和広

(財)水資源協会

環境課

小野 真

(三重用水管理所)

道路工事課

小林 利久

(下久保ダム管理所)

十一月一日付

調整課

斉藤 光悦

(草木ダム管理所)

転出者 「お世話になりました」(転出先)

八月一日付

第二調査設計課

國居 史武

(大山ダム建設所)

九月一日付

調整課

小林 良史

(休職 組合専従)

十月一日付

調査役

星野 徹

(徳山ダム建設所)

総務課長

河野 裕明

(本社技術管理室)

環境課長

一ノ瀬 泰彦

(本社総合技術推進室)

十一月一日付

環境課

田中雄一朗

(本社財務部)

師走の季語

年忘(としわすれ)



今でいう忘年会の事をいいます。

一年間の苦勞を忘れるという意味で、家族や友達・知人と集まって宴会をするというものでしたが、今では職場単位の行事を指す事が多いようです。

室町時代の中期の文献には、すでに「年忘」という言葉があるそうです。忘年会の話が出ると、「もう年末？一年は早い」と改めて実感します。



編集後記

朝、布団から出るのがつらい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしですか。低温・低湿の季節は、ウィルスが活動しやすくなる為インフルエンザが流行るそうです。体に気を付けて残り少ない2007年を有意義に過ごしましょう。

編集・発行所



独立行政法人水資源機構

思川開発建設所

〒320-0065 宇都宮市駒生町中丸 3368

Tel(028)622-8941 Fax(028)622-8945

ホームページ http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.html

鹿沼事務所

〒322-0346 鹿沼市上南摩町 187-18

Tel(0289)77-3888 Fax(0289)77-3890

〔第20回かぬま産業交流フェアに出展しました〕

澄み渡る晴天のもと、平成19年10月13日～14日に第20回かぬま産業交流フェアが開催されました。このイベントは、「かぬまブランド認定品」を中心に鹿沼市の特色ある産業の紹介や特産品の展示・即売を通じ、市内外から訪れる来場者の鹿沼市産業への理解と関心を深めるとともに、農林商工業界相互の交流を図ることを目的としており、来場者に思川開発事業をPRする場として、機構も当イベントに出展しました。

機構のブースでは、クイズやアンケートの実施、パンフレット等の配布、パネル展示を行い、子供からお年寄りまで多数の方が来場されました。また職員も、このイベントに参加することで、来場者との交流はもちろん、鹿沼市産業への理解・関心を深めることが出来、とても有意義なものとなりました。今後も、様々なイベント等に参加し、思川開発事業のPRや地元交流を深めて参ります。



来場者で賑わう水資源機構のブース



子供からお年寄りまで



かぬまブランド認定品も展示

台風9号(9/7)の出水状況について！

平成19年9月7日未明に、大型で強い台風9号が関東地方に上陸し、栃木県内でも大雨となり、山間部では降り始めからの雨量が累計700ミリを越す観測所もありました。県内の一部地域で、道路の損壊に伴い観光客や住民の方など1,500名が一時孤立状態に陥るなどの被害が発生しました。

思川開発建設所においても、事業区域の巡視や関係河川の状況把握を実施しました。写真1は、南摩ダム建設予定より下流約0.5km定点の様子です。台風による降雨で普段は清流の河川が土砂を巻き上げ濁水となって流れています。撮影時の流量は普段の約200倍(通常0.18立方メートル毎秒)です。また、南摩川が思川に合流した下流約2km地点の清洲橋の様子が写真2になります。思川が渡良瀬川に合流する手前(乙女橋)が写真3になります。



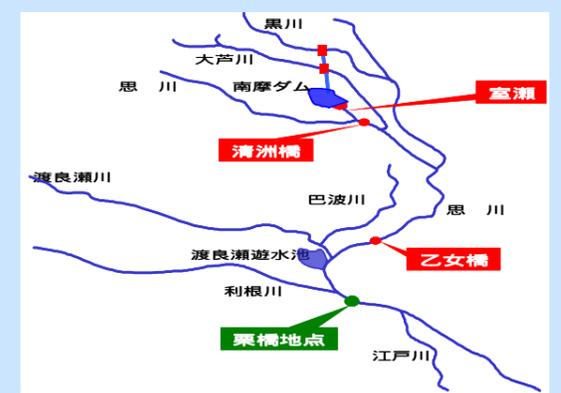
写真1 (室瀬 9/7 7:00 34m³/s)



写真2 (清洲橋 9/7 7:45 400m³/s)



写真3 (乙女橋 9/7 14:40 2,500m³/s)



位置図